議会だより なよろ

27 No.

2013.2.1 発行

○写真左と右下:1 月 14 日に名寄市内で行われた出初式(でぞめしき)。
　名寄市消防署署員と名寄消防団(長谷川米茂団長)団員が参加した名寄消防 出初式が 3 条通りで行われ、災害のない年を願って団員による見事な登梯(とてい)が披露されました。

○写真右上:智恵文地区で開かれた親子書初め大会。
　今年 1 年の計と希望を託して力強く筆を運ぶ児童の皆さん。

第 4 回定例会

○ 定例会で決まったこと …… 2
○ 新年のご挨拶・審議日程・臨時会・可決された意見書 …… 3
○ 一般質問に 12 人 …… 4～9
○ 各委員会視察報告 …… 10
○ 各委員会活動報告 …… 11
○ 議員協議会 …… 12
○ 議会日誌 …… 13
○ きぼう・編集後記 …… 14

題字は　黒井 徹　議長

第４回定例会　11月30日から12月21日までの22日間

～駅前交流プラザ「よろーな」条例を可決～
≪名寄市のにぎわい創出に期待≫

平成24年第４回定例会は、11月30日から12月21日までの22日間開かれました。

議案審議では条例案13件、補正予算案６件、その他７件、報告１件、意見書案２件を審議しました。

一般質問は、12月19日、20日、21日の３日間行われ、12人の議員が市政の課題について質問しました。

主な条例

☆ 名寄市災害時における相互支援に関する条例の制定

東日本大震災以降の災害対策において、本市で行なっている独自の防災訓練や災害時の要援護者支援などの減災対策に加え、自治体間の迅速な相互支援の仕組みを条例化することが、被災した自治体の復興に寄与し、ひいては本市の市民の生命と生活の安全を確保し、災害対策力の向上となることから、本条例を制定する。総務文教常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とした。

☆ 名寄市営住宅管理条例の一部改正

第１次地域主権改革一括法により公営住宅法の一部が改正され、これまで国が定めていた「公営住宅の整備基準及び入居収入基準」が地方自治体の条例に委任されたことに伴い、本条例の一部を改正する。経済建設常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とした。

☆ 駅前交流プラザ「よろーな」条例の制定

本条例は、にぎわいを創出することにより、商工業の発展及び中心市街地の活性化を目的とする施設を名寄駅横に設置するため条例が提案され、平成24年第３回定例会（９月）で経済建設常任委員会に付託し、閉会中の継続審査としたもの。本定例会（12月）で、第１条の目的及び設置の条文中、「商工業の発展」を「地域経済の発展」とする一部修正の委員長報告を受け、同報告のとおり修正可決した。

☆ 名寄市国民健康保険税条例の一部改正

本条例は、平成24年第３回定例会（９月）で、名寄市国民健康保険事業の安定的な運営を図るため一部改正案が提案され、市民福祉常任委員会に付託し、閉会中の継続審査としたもの。

本定例会（12月）で委員長報告を受け、原案どおり可決した。

☆ なよろ市立天文台条例の一部改正

本条例は、平成24年第３回定例会（９月）で、料金設定の見直しと天文台の利用に関する新たな基準の設定により、利用者の利便向上を図るため一部改正案が提案され、総務文教常任委員会に付託し、閉会中の継続審査としたもの。

本定例会（12月）で委員長報告を受け、原案どおり可決した。

主な補正予算

☆ 備荒資金組合超過納付負担金

今後見込まれる地方交付税の合併算定替の終了など、将来の安定的な財政運営に備えるため5,000万円を追加した。

☆ 感染症対策事業

不活化ポリオワクチン予防接種及び四種混合予防接種の導入に伴い、943万円を追加した。

新年のごあいさつ

名寄市議会議長
黒　井　　徹

市民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新年を迎えたことと思います。心からお慶び申し上げます。昨年は融雪の遅れと春先の干ばつの影響が心配されましたが、水稲は豊作となりました。しかし、一部価格低迷もあり、作物によっては差のある年となりました。市政課題での一番は、医師不在が続いていた市立総合病院・消化器内科の医師の確保ができ、診療が再開したことです。安心安全なまちづくりには医療体制の充実が不可欠です。市長、院長、関係者に感謝を申し上げます。

駅横の交流プラザ「よろーな」も完成間近で４月のオープン予定ですが、中心街のにぎわいの拠点になる事を期待しています。また、市民ホールについては規模や座席を可動式あるいは、固定式で多くの時間をかけて議論した結果、全席固定席で 647 席となり、本年着工となりました。芸術文化の拠点としての機能を充分発揮できるように行政、関係団体の英知と実現する力を集結し、将来の子供たちに夢と希望の持てる施設になるよう期待をしています。

昨年の 12 月 16 日の衆議院選挙の結果、政権が代わりました。政策は不透明ですが本格的な少子高齢化時代に備えての社会保障や不況対策、消費税増税、さらには領土、ＴＰＰなど国内外の課題は多く、国の政策次第で地方自治体への影響が大きく、議会としても将来を見すえた議論を重ね、行政と議会が安定した両輪の機能を発揮していくことが市民の幸せになると信じています。

最後に今年も良い一年になることをご祈念致しまして、新年のご挨拶と致します。

審議日程

11 月 30 日（金）
・開会
・委員長報告
（付託議案）
・行政報告
・議案等の審議
○議会運営委員会
12 月 7 日（金）
◎経済建設常任委員会
12 月 18 日（火）
○議員協議会
12 月 19 日（水）
・一般質問
◎議会運営委員会
12 月 20 日（木）
・一般質問
12 月 21 日（金）
・一般質問
・委員長報告
（付託議案）
・議案審議
・意見書案審議
・委員の派遣報告
○議会運営委員会
・閉会

臨時会

平成 24 年第３回臨時会が、10 月 31 日に開会されました。

平成 24 年度名寄市病院事業会計補正予算について審議し、承認しました。今回の補正は、市立病院における精神科病棟改築事業の実施設計が終了し、総事業費並びに年度毎の進捗計画がまとまったので、工事請負費、継続費等を補正したものです。

可決された意見書

・安心できる介護制度の実現を求める意見書
・患者数が特に少ない希少疾病用医薬品（ウルトラ・オーファンドラッグ）の開発促進・支援のための法整備等を求める意見書

一　般　質　問

市民が主役のまちづくり

新緑風会
大石　健二　議員

低調な意見公募の対策を

問　パブリック・コメント（意見公募）手続条例が施行され 2 年が経過する中で、市民からの意見の応募が極めて低調に推移している。どのように現状分析と今後の対応を図っていくのか。

答　平成 24 年度も 10 件の意見公募を行ったが意見提出は 1 件のみで、活用状況は十分でない。今後も制度の調査、研究を継続し工夫を図っていきたい。

非正規の待遇改善と研修を

問　名寄市は、2.4 人に 1 人が非正規職員だ。大半が年収 200 万円以下で、正規職員と同じように基幹的に行政サービスを担っており、生活困窮者（こんきゅうしゃ）に陥らぬ対策を。業務の質的向上を図るための研修の実施を

答　市の臨時・嘱託職員計 272 人と、ここ数年で最も多い。今年度は、通勤手当の見直しを行っており、今後も住民サービスの低下を招かぬよう待遇面についても検討していく。研修については実施していないが、職場内研修は行っているが、必要とあれば今後、実施に向けて検討していく。

他の質問・平成 25 年度予算編成について・予算編成過程の可視化を・第 3 セクターの今後

はたらけど　はたらけど　なお　わが生活楽にならざり　ぢっと手を見る（「一握の砂」石川啄木より）

交流人口拡大で地域活性化を

市政クラブ
山田　典幸　議員

合宿誘致の推進を

問　合宿による宿泊を伴う交流人口の増加は、経済効果の拡大を図る上でも重要な要素であり、より積極的に推進していく必要があると考えるが、現状と今後の取り組みは。

答　合宿受入状況は、経済状況の厳しさも影響し減少傾向にある。今後は、スポーツなどの既存の合宿はもとより、芸術・文化などさまざまな分野において情報収集ができるよう、（仮称）「なよろ人材ネットワーク」を立ち上げ、ＰＲ活動や誘致活動を行い、合宿実現の可能性を高める取り組みを検討していく。

特認校の支援策について

問　特認校では、少人数による地域の特色を活かした教育を行っているが、通学手段などの環境整備が必要である。今後の支援策は。

答　通学手段の問題を解決することにより、さらに、特認校への入学者が増え、学校や地域が活性化すると認識している。今後、学校や保護者の意向を聞き、可能な限り時間の変更や路線の変更を公共交通機関等へ要望するなど、児童生徒が安心して通学できる体制を整えていく。

他の質問・本年の地域農業の実態、教職員の勤務実態、新年度予算編成について

毎年多くの選手が合宿に訪れるピヤシリシャンツェ

一　般　質　問

駐車場確保に努力

市民連合・凛風会
佐藤　靖 議員

行動指針を策定掲示へ

問　毎年 11 月 1 日に発令される新年度予算編成にかかわる市長訓令は、市長の思いが読み取れる内容にすべきであるし、原則認めないとしている職員の道外出張も見聞を広め、市政に反映させるために必要ではないか。また、続発した不祥事は市民の信頼を失墜させた。しっかりとした防止策とともに、市長も内政重視の 1 年とすべきではないか。

答　市長訓令については、思いが伝わるよう再検討する。職員・先進地出張は能力向上等からも必要な場合もあり、出張級の対応を含め今年度中に仕組み作りを行う。職員倫理（りんり）に関しては、早急に行動指針を策定し、庁内に掲示して意識を高めたい。

駐車スペース確保に努める

問　ＪＲ名寄駅前を中心とした中心街のにぎわい創出のためにも、よろーなの 36 台をいう駐車場は少な過ぎる。集客施設予定地をはじめ、周辺空き地の活用を考えるべき。また、なよろの日（7 月 4 日午後 6 時）の復活をはじめ、夢のあるにぎわい創出を図るべき。

答　指摘、提案について検討する。

他の質問・名寄市立総合病院の経営安定

「よろーな」には現在、36 台の駐車スペースしかない

(仮)市民ホールの進捗状況は

市政クラブ
東　千春 議員

市民ホールの運営は

問　(仮称)市民ホールの運営のあり方やスケジュール、設計について、文化振興条例について。

答　ＦＭなよろには音響、照明など技術管理と情報発信を委託する。自主事業等の年間スケジュールの策定は、市とＦＭのどちらが主体的に行うかは今後の協議。自主事業等を実施する実行委員会を来年夏までに組織化すると共に市民団体が自主企画事業をしやすい仕組みづくりを進める。人材登用では、杉並区「座(ザ)・高円寺」の芸術監督、佐藤信氏をアドバイザーとして委嘱し、指導・相談体制を構築する。

設計では、倉庫が少ないことから改善を図る。

文化振興条例は、ホール開館前までには制定するが、早急に対応したい。

子どもの交通安全は

問　子どものヘルメット着用と自転車運転免許などの交通安全対策を。

答　通学許可を受けた生徒は、保護者の責務としてヘルメット着用を義務付けしている。事故は午後 3 時から 5 時に多発することからも学校等を通して勧める。子ども自転車免許の交付は意識付けとして一つの手段であり検討する。

他の質問・仮称・複合交通センターについて

子どもヘルメット着用の奨励を

一般質問

子ども子育て支援関連３法

公　明
高橋　伸典 議員

次世代育成支援を

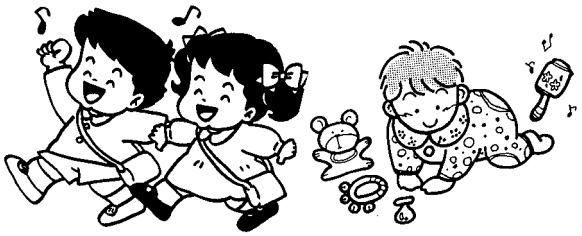
問　少子化対策会議において、幼児期の学校教育、保育、地域の子ども子育て支援を総合的に推進する子ども子育て関連３法が成立。地方版子ども子育て会議の設置や国の動向を見極めつつ、円滑かつ速(すみ)やかな新制度を導入する体制を。

答　国は、子ども子育て会議を平成 25 年４月に設置。合議制機関の設置努力義務とされており、国の動向に注視し、名寄市も検討する。事業計画は、平成 22 年に策定した「次世代育成支援後期行動計画」をふまえ、アンケートによるニーズ調査を平成 25 年度に実施し、名寄市の新しい子ども子育て支援計画をスムーズに策定できるよう準備を進めたい。

交通弱者に対する対策

問　なよろコミュニティバスとデマンド交通の利用者からの要望の時間割と停留場の変更は。

答　コミュニティバスは、本年７月から実証実験中で、今後は調査結果や市民から頂いたご意見をふまえ、より利便性の向上に向けた改善を図りながら進める。デマンド交通は、１年間で316%乗車数が増加。指定場所を増やすことは、他の交通関係者とも協議のうえ、今後の対応を検討したいと考えている。



子どもと親が安心して暮らせる街を

自衛隊のまちとしての品格を

市政クラブ
佐々木　寿 議員

25 年夏創立 60 周年記念

問　60 周年記念行事にあたり、自衛隊活動への理解、交流の機会として、市民とともに祝う機会とすべきと考えるが市の対応は。

答　名寄駐屯地は、国内外の活動をはじめ、本市のまちづくりに大きく関わりを持つことから、これまでの周年事業と同じように前向きに支援を行うとともに関係諸団体と連携して、理解と交流の場に努める。今後、パレード等も含め、駐屯地の意向を確認し、協議の上、市の対応を示して行く。

将来の老老・認認介護

問　老老介護、認認介護がさらに増える傾向が見込まれるが、財源の厳しい現状の中で、その対策をどのように計画し進めていくのか。

答　増加が危惧(きぐ)されているが、生活機能調査の基本チェックリストや民生委員等による情報収集に努めているがプライバシー等の問題もあり、家庭に立ち入ることが困難な現状である。なお、介護用品の支給等介護者の経済的負担軽減事業も実施している。今後、行政、関係機関、地域住民等と相互に連携し、適切に対応していく。

他の質問・出席停止、コミュニティ・スクール、合同部活について

駐屯地創立 58 周年車両パレード

一般質問

市民税等の滞納減少を

市民連合・凛風会
竹中　憲之 議員

滞納金徴収対策について

問　市民税・使用料・手数料等の滞納状況と徴収対策は。

答　平成 23 年度決算における滞納総額は、約 1 億 6,249 万円となっている。滞納徴収対策については、「滞納繰越額を発生させないこと」を基本に「現年課税分の徴収強化」を図っている。保育料については、こども未来課・税務課・滞納者の三者により具体的な納付相談や納付計画に取り組んでいる。公営住宅使用料については「市営住宅家賃滞納整理等事務処理要綱」に基づき、滞納 2 ヶ月から文書で指導、3 ヶ月からは催告状を送付し電話、訪問、納付指導をし、納付がない場合は、明け渡し請求等で対処している。公平性を図るためにも毅然（きぜん）と対処する。

名大卒生のサポートを

問　名寄大学卒業後のサポートは、学生募集に連携すると思うが、大学としての対応は。

答　卒業後のサポートについては、教員が実習先訪問と合わせて就職先を訪れ助言や担当教員が個別に相談に応じている。本年、キャリア支援センターを設置、卒業生の追跡調査やフォローアップのあり方について検討をしている。きめ細かな就職支援を進め学生募集につなげたい。

名大卒業生のサポートから学生募集につなげる

市民ニーズのプランに

市民連合・凛風会
植松　正一 議員

福祉施設と今後の対策は

問　住宅マスタープラン見直しに向けての検証と少子高齢化の進行で福祉施設への入居希望者も多く、今後の市民ニーズの対応と対策は。

答　住宅マスタープランは、10 年間におよぶ長期計画であり、市民ニーズ等に対応すべく、中間年である今年度にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて計画全般の施策についての点検、見直しを図る。また、介護が必要な入所系施設は、さらに調査・研究を進める。高齢者向け住宅建設の必要性は、現在、国が「サービス付き高齢者向け住宅」の開設者である民間事業者に補助金等を交付するなどの供給支援を行っており、これらの動向も視野に検討する。

パークゴルフ場整備は

問　今年の議会報告会で、利用者から健康の森の整備が不充分と指摘があったが、管理体制は。

答　指定管理と維持管理事項で、芝刈り等 11 項目を定め、毎年事業計画を義務付けし作業水準以上の確保を求めている。指導体制は、定期的また、臨時に報告を求め、実地調査、必要な指示を条例に基づいて行っており、今年度の苦情に対し、改善すべきとの指示を行った。平成 24 年度利用者数は、前年比 2,827 人減の実績だった。

待機者が望んでいる入所系施設

一般質問

人材確保の拡充を

市民連合・凛風会
日根野　正敏 議員

医療職の労働環境の向上について

問　医師、看護師等の確保は、思うように行かない厳しさがあると思うが、現在の労働環境の実態と、看護師募集状況、名寄大学看護学科との連携強化、医療職給与の導入、軽症患者の時間外診療等の対策は。

答　医師の時間外勤務は、月平均で 31 時間、最高で 128 時間、看護師の有給消化率は、一般病棟では、4.0 ～ 9.9%。看護師採用状況は、25 年度では、現在 17 名に内定通知済み、2 次で 5 名に内定者を出す予定。病院の学資金利用者は、12 月現在 35 名。大学との連携では、実習などの際に定期的な協議のほか、高校訪問時に看護師募集の案内や病院の奨学金制度をＰＲしている。看護師確保は、最優先の課題で新卒獲得のためにも医療職給与表の導入は必要と考えている。軽症患者の時間外診療では、20 代から 40 代の患者比率が高くなっている。

道路愛護の市民協力について

問　高齢化、過疎化の進行により、現状維持が厳しい状況も想定されるが考えは。

答　市民からも検討してほしいとの意見が出ている。事業継続のため、課題解決に向け関係者と話し合いをしていく。

名寄大学看護学科で学ぶ未来のナイチンゲールたち

商工業の活性化を

市政クラブ
駒津　喜一 議員

市内商工業者への支援について

問　空き店舗支援金の増額並びに各商店街アーケード償還金の援助は。中心市街地近代化事業支援は、予定の市民ホール近辺や商業施設が少ない北区、東区にも適用範囲を考慮すべき。小規模事業への支援として公的機関である日本政策金融公庫のマル経にも利子補給をすべきでは。

答　市内商工業者への支援として、現状に応じた施策として、中小企業振興条例の見直しをし、その上で、関係機関商工会議所、商工会と連携し振興条例審議会に諮(はか)りたい。

国内交流人口の拡大に合宿誘致を。

問　冬季間のスポーツ施設はいずれも公認記録に対応できる施設があるので合宿にも多く使用されるが、夏季間の陸上競技場をはじめスポーツ施設に関しても公認記録が取れる施設を整備し、合宿を誘致して交流人口の拡大を図るべき。

答　夏季間のスポーツ設備の整備計画は、総合計画に沿って進めている。広域自立圏の連携を含め、今後検討していきたい。他の陸上競技についても、3 種公認ができるように検討したい。他の質問・公共施設の規制について・高齢者徘徊対策として、介護負担軽減のためにも、杉並区と連携した位置確認システムの導入を

街を元気に！高齢者に安心を（左下写真:位置確認機器）

一　般　質　問

新小学校に太陽光発電

日本共産党
川村　幸栄 議員

被災地に学んで

問　福島原発事故後、食品に対する放射性汚染への不安が子育て中の方々を中心に広がっている。学校給食食材の放射性物質測定器導入の考えは。また、自然エネルギーの活用が求められている中で、新校舎の太陽光発電の設置は、さらに家庭用太陽光発電への助成は。冬期間の公共施設の開放利用で市民交流の場を。

答　測定器導入は、体制・場所等に課題がある。食材購入は十分注意を払い、厚労省の検定を注視する。1 月から道教委が行なうモニタリング事業に参加し、給食便り等で保護者に知らせる。

地域で進める見守り

問　認知症など判断力が不十分な人に代わり、財産管理や医療介護サービスの契約などを行なう成年後見制度。認知症や独り暮らしの高齢者が増える傾向にある中、制度の必要性は高まっている。弁護士や司法書士などの専門職後見人だけでなく、市民後見人養成に取り組む支援も行われ、帯広市など積極的に取り組んでいる。名寄市の考えは。

答　包括支援センターを中心に相談を受けているが、制度の市民周知も含め、研究したい。

他の質問・見守りネットワーク・門口除雪

特に高齢者に負担増となる門口除雪は、委託業者さんへの技術指導などの徹底が望まれます。

「生きる力」を育む

清風クラブ
上松　直美 議員

名寄市における教育行政

問　名寄市教育委員会として、新しい学習指導要領の全面実施と学力向上対策は。また地域の特性を活かした学校教育の方向性は。

答　新しい学習指導要領は、児童生徒たちが社会を生きるために必要な確かな学力、豊かな人間性、健康、体力の「生きる力」の育成に努め知・徳・体のバランスのとれた力を育てることである。教育委員会として、本市の生徒児童が、社会で自立していくための必要最低限の学力を保障するという観点から、平成 26 年度までに全国平均以上の道教委の学力向上を目指し、名寄市教育改善プロジェクト委員会による学力向上の取り組みを推進する。地域の教育資源をより有効に活用し、大学と連携をした学習指導を推進する。

有害鳥獣対策について

問　有害鳥獣被害状況と対策について

答　エゾ鹿の農業被害は、3,360 万円、ヒグマでは、100 万円となっている。エゾ鹿対策として「名寄市農業被害防止計画」を策定し、対策協議会を中心に鹿の駆除をしている。ヒグマ対策として、看板の設置、住民への周知、パトロール、箱わなの設置を実施し、電牧柵も有効と認められる。

元気いっぱい‼雪山で遊ぶ未来の宝物

市民福祉常任委員会視察報告

京都府亀岡市・岡山県瀬戸内市・兵庫県加古川市・相生市・南あわじ市

11 月 5 日から 11 月 8 日までの 4 日間の日程で視察。亀岡市では、事故や怪我（けが）は偶然に起こるものではなく予防できるという考えのもとセーフコミュニティー認証を平成 20 年に取得、事故や怪我（けが）などが明らかに減少し、市民の関心も高まっている。加古川西市民病院の地域医療支援と、24 時間院内保育については、総合病院としての存続、危機に瀕（ひん）したことから、他の病院と経営統合し、紹介患者中心の医療提供や医療機器の共同利用等の転換を行ない、存続と経営の安定化を図った。24 時間院内保育の実施により、医師の着任、育児休業の繰り上げ短縮の例もあるとのことだった。瀬戸内市では、妊娠中から子どもが 4 歳になるまでの間、保育士等から継続して育児、子育て相談等のサポート事業を行なっている。相生市では、子育て応援都市宣言を行ない、学校給食や幼稚園、保育所の無料化等、手厚い子育て支援で移住定住の成果をあげている。南あわじ市の「いきいき 100 歳体操」は、全国に広まりつつある体操で、週 1 ～ 2 回地域の会館等に集まり、30 ～ 40 分の体操をすることにより、足のふらつきや痛みが治った、体操に来ればみんなと話しができる、一人暮らしの人を誘うと安否確認にもなるなど、生き生きとした取り組みだった。

兵庫県相生市で「子育て応援宣言都市」について学ぶ

議会報特別委員会視察報告

登別市・北海道新聞旭川支社

当委員会は、去る 11 月 15 日から 16 日までの 2 日間、登別市議会・議会報編集委員会及び北海道新聞旭川支社の 2 ヵ所を視察、それぞれ議会報の編集や委員会活動、記事見出しの付け方や写真撮影の技法などについての研修を深めた。

15 日は、登別市議会・議会だより編集委員会が編集する議会報「でぃすかす」及び議会ホームページの企画編集について研修した。同委員会は平成 13 年に、従来まで年 4 回の単独発行を改め、登別市が毎月発行する「広報のぼりべつ」に、定例会ごとに年 4 回挟み込む一体化発行の変更に取り組み、議会費削減を図った。これを受けて私たち名寄市議会・議会報特別委員会は、議会経費の縮減はもちろん、市民の皆さんから寄せられている誌面組みの改善など、読者である市民を主役にした委員会活動を、まずはできるところから、はじめようと、新春の委員会から具体的な協議に入ることを確認した。翌 16 日の北海道新聞旭川支社では、実際にカメラを使って、写真撮影の技術向上につながるヒントが伝授され、掲載記事の見出しの付け方では、記事の核心をズバリ適語表現する技術を実際に新聞の見出しをつけている整理部デスクから手ほどきを受け、各委員は「早速、新年号から誌面作りに反映」と意欲を新たにしていた。

北海道新聞旭川支社で説明に聞き入る各委員

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

委員会は 10 月４日と 11 月 26 日の２回開会し、第３回定例会で付託された第４号議案「なよろ市立天文台条例の一部改正」、「名寄市新エネルギー・省エネルギービジョン素案」、「ＴＶＨ試験放送の日程」、「行財政改革の推進状況」等について審査を行った。

改正の主な点は、天文台の入館料を観覧料に名称を改め、特別料金を廃止して同料金に改め、高校生の観覧料金を無料とするもので、審査の結果、全員一致で原案通り可決すべきものと決定した。

利用しやすい天文台に

市民福祉常任委員会

委員会は、10 月 15 日、10 月 31 日、11 月 13 日に、第３回定例会において付託された「名寄市国民健康保険税条例の一部改正」の審査を行なった。改正の内容は、後期高齢者支援金分と介護納付金分における拠出（きょしゅつ）超過を解消することが主な目的で低所得者層への負担増を抑えるため応益部分となる均等割、平等割の改正幅を圧縮したほか、課税限度額の改正が続いたことから、持ち家の年金所得者に配慮して、基礎賦課分の資産割を調整する改正内容。

採決の結果、賛成多数で原案通り可決すべきものと決定した。

付託議案を審議する委員

経済建設常任委員会

委員会は 10 月 12 日、26 日、11 月８日、22 日、12 月７日の５回開会。建設水道部所管では、地域主権改革一括法に関する条例の改正、「名寄市水道事業給水条例･下水道条例の一部改正」、「道路の廃止及び認定」、「市道維持管理に伴う損害賠償」、第４回定例会補正予算を審査した。経済部所管では、「なよろの水」の継続、第４回定例会補正予算、第３回定例会付託議案第１号「駅前プラザよろーな条例の制定について」審議を行った。

よろーな条例は、条文を一部修正、修正部分を除き、可決すべきものと決定した。

建設中の「よろーな」を視察

議 会 運 営 委 員 会

委員会は平成 24 年第３回定例会以降、６回の委員会を開会した。

10 月 31 日は、第３回臨時会の会期・日程等を協議決定し、11 月 12 日は制定を目指す「長期欠席議員に対する報酬のあり方」及び「議案採決時の賛否公表」等について協議、いずれも継続協議とした。また、11 月 28 日には、第４回定例会の会期・日程等に関して協議し、定例会会期を 11 月 30 日から 12 月 21 日までの 22 日間と決定するとともに、上程議案 16 件、報告１件を確認。一方、一般質問は 12 人が登壇し 19 日から３日間とした。

11 月 30 日は、一連の職員不祥事に対する市長発言を認めるとともに、議事日程に議案第 17 号「特別職の職員の給与の支給特例に関する条例の制定」についてを追加。

12 月 19 日は、会期中に結審が導かれた「駅前交流プラザよろーな条例」の制定についての報告と、９件の追加議案、２件の意見書案を上程することを確認した。

12 月 21 日には、再び市長から議長に対し、市の除雪排雪に関して発言が求められたことから、これを認めるとともに、議長裁量権の範囲内で市長発言に対する質疑も認めることとした。

議 員 協 議 会

《新名寄市総合計画後期実施計画の見直し他３件》

議員協議会が 12 月 18 日に開会され、執行側から 「新名寄市総合計画・後期計画の見直し」「名寄市中期財政計画の見直し」 「名寄市総合病院精神科病棟改築工事にかかわる請負契約の締結」 「広域一般廃棄物最終処分場の設置」について、それぞれの説明が行われた。このうち については平成 25 年度から 27 年度までの 3 年間の事業を市長ローリングで 18 事業を見直しし、12 事業が新規追加された。 では、平成 24 年度から 28 年度までの収支試算で、市債発行額のうち名寄市の実質負担分を 50 億円程度となる起債額のガイドラインを堅持していくとした。 では、精神科病棟の解体工事と駐車場整備工事等の工事概要と工程について説明が行われた。 の一般廃棄物最終処分場については、新たに音威子府村を加えた 4 市町村により広域共同設置し、名寄市内淵地区に事業費 21

億円、平成 30 年 4 月から供用開始するとしている。これに各議員からは、「総計の乳幼児等医療給付事業の拡大を」「なよろ温泉サンピラー整備事業が当初事業額より大幅に削減されているが、後期計画での事業展開は」「市道除雪事業の増額内容」「移住ちょっと暮らし施設設置事業の具体的な内容は」との質疑があった。

定例会は 3 月・6 月・9 月・12 月の年 4 回行われます。臨時会は必要に応じて開催されます。
※議場での音声を鮮明に聴くために、携帯型受信機を用意しています。
◇問い合わせは議会事務局（　01654-3-2111）へお申しでください。◇

議会日誌

9月15日 ・ゴラン高原派遣輸送隊帰国関連行事（旭川市）
18日 ・めざせ市民が主役の政治旭川フォーラム（旭川市）
・上川総合開発期成会意見交換会・要望会（旭川市）
21日 ・議員協議会
・議会運営委員会
10月４日 ・総務文教常任委員会
９日 ・第7回全国市議会議長会研究フォーラムin松山（愛媛県）～11日
12日 ・議会報特別委員会
・経済建設常任委員会
15日 ・留萌市議会行政視察
・市民福祉常任委員会
16日 ・陸上自衛隊名寄駐屯地増強促進期成会道内要望（旭川市・札幌市）
17日 ・全国市議会議長会基地協議会北海道支部定期総会（登別市）～18日
・千葉県柏市議会行政視察
20日 ・東京なよろ会総会（東京都）
21日 ・北部方面創隊60周年記念行事（札幌市）
22日 ・総合かんがい排水事業国営天塩川上流地区完了30周年記念行事（和寒町・士別市）
23日 ・滝川市議会行政視察
24日 ・陸上自衛隊名寄駐屯地増強促進期成会中央要望（東京都）～25日
26日 ・経済建設常任委員会
29日 ・全国高速自動車道市議会協議会第１回理事会（東京都）～30日
31日 ・議会運営委員会
・第３回臨時会
・市民福祉常任委員会
11月２日 ・第２師団地域市町村自衛隊体制維持中央要望（東京都）
・広域行政圏市議会協議会第61回理事会（東京都）
３日 ・名寄市功労・善行・栄誉表彰式
・名寄市特別栄誉表彰式
・名寄市文化賞受賞式
８日 ・経済建設常任委員会
12日 ・議会運営委員会
13日 ・市民福祉常任委員会
・北海道市議会議長会道北支部議長会（秋季：紋別市）～14日
16日 ・交通事故抑止緊急市民総決起大会
17日 ・平成24年度「中央音楽まつり」（東京都）
20日 ・全国市議会議長会基地協議会第78回理事会（東京都）
21日 ・全国市議会議長会産業経済委員会正副委員長会議、委員会（東京都）
22日 ・経済建設常任委員会
26日 ・各会派代表者会議
・総務文教常任委員会
28日 ・議会運営委員会
・議会報特別委員会

今年も名寄市議会は市民のみなさんのために頑張ります

きぼう

105 年の歴史に幕

名寄市風連町字日進　泊り　雅幸

平成 25 年3月 31 日をもってわが母校、名寄市立風連日進小・中学校は閉校を致します。

閉校にあたり関係各所に多大なご協力を頂いていることに感謝申し上げると共に、これから執り行います、3月 20 日（土）の閉校式、3月 19 日（火）の卒業式を無事に終えられるようにさらなるご協力をお願い致します。

卒業式までの平日は、学校開放をしておりますので、懐かしい思いのある方、興味のある方は、是非、来校して頂きたいと思います。

子どもたちと共に発展し、成長するための糧（かて）として、閉校に係わるすべての人たちに感謝します。

仲間と共に

名寄市緑丘39－35　田渕　紀江

私がバレーボールを始めたのは中学生。かれこれ 30 年以上になります。

現在も「名和クラブ」というママさんチームで 20 代から 40 代の仲間と週2回汗を流しています。練習は夜間のため、メンバーは仕事を終え、家事や育児を短時間でこなし体育館に集まります。時には子連れのメンバーもいますが、これもまた子ども親の一生懸命な姿を見せられる貴重な時間かと思います。

バレー人口が減る中、いつかまた盛り上がる時が来ることを願いつつ、大好きな仲間たちと出来る限り楽しんでいけたらと思います。

お詫びと訂正

議会だより第 26 号（平成 24 年 11 月1日発行）でご寄稿いただきました「きぼう」のご芳名に間違いがございました。ここにつつしんでお詫びして訂正いたします。12 頁の「及川雄一氏」を「及川勇一氏」に訂正します。

迎春

市政クラブ
東　千春
宗片浩子
駒津喜一
佐々木寿
川口京二
山田典幸
黒井　徹
市民連合・凛風会
熊谷吉正
植松正一
竹中憲之
佐藤靖
日根野正敏
奥村英俊
佐藤　勝
新緑風会
山口祐司
大石健二
清風クラブ
上松直美
公明
高橋伸典
日本共産党
川村幸栄

編集後記

▶あけましておめでとうございます。昨年 11 月から初雪が一度も融（と）け切らず根雪となり、積雪量は平年の約３倍にのぼります。市民は雪かきに追われ道路沿いと交差点周辺には雪が高く積まれ、車の渋滞が続くことから交通事故には注意をお願いします。▶北海道電力は、2010 年度比 7%以上の節電目標を今年２月まで呼びかけている。道内消費量の４割強を占める家庭の節電がカギを握（にぎ）る。消費電力の割合が大きい照明や冷蔵庫、テレビの省エネが重要。計画停電を全員で阻止しましょう。▶ノーベル賞を受賞した山中伸弥教授は、授賞式後、「ノーベル賞は私にとって過去形で、これからの研究が本当に大切なので、一生懸命やっていきたい」といわれた。私たち議員も、当選してから市民のため、どう働くかを肝に銘じて参ります。　（伸）

名寄市議会だより（第27号）　平成25年2月1日
発行：名寄市議会　編集：議会報特別委員会　TEL(01654)３－２１１１
◆インターネットホームページアドレス　http://www.city.nayoro.lg.jp
名寄市議会だよりは再生紙を使用しています。
資源を大切に、ごみの減量・リサイクルにご協力下さい。